

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2024 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2457
研究開発課題名	自律移動可能な波浪観測用小型ブイと AI を用いた波高計測システムの開発
研究代表者	東京電機大学 未来科学部 准教授 藤川 太郎
研究開発成果の概要	係留ロープを必要とせず、GPS の位置情報により滞留範囲を定め、この範囲外になると完全密閉された外殻の回転による自律移動により特定海域に留まる機能を有する波浪観測用小型ブイを開発した。搭載した加速度センサデータをもとに、AI を用いて誤差 100mm 未満の波高推定を達成した。

総合評価

技術シーズとしての魅力は高く、複数のプロトタイプの開発・試作・実海洋での実験・機体改良を通して、自律移動により特定海域に留まる機能を有する波浪観測用小型ブイの有用性が確認できたことは高く評価できる。自律移動性能において、製品化に向けて検証すべき課題が多いが、海洋実験を継続して取り組むことを期待する。本技術が有用な他の応用可能性およびビジネスモデル検討など事業の実現性を高める必要があると考えられる。

以上